

令和三年度文化祭
校内短歌・俳句創作コンクール

鹿児島県立伊集院高等学校国語科

《短歌》

大賞	自習中 ふと目が合った 扇風機 「頑張りなさい」 母と重なる	植村 文香	一年四組
準大賞	母の日の 手紙何度も 書き直し 素直になれず 十七の我	榎本 青空	二年四組
準大賞	行く春の 庭に座った 皺二つ 「何をしようか。」 笑い寄り添う	茶園 美里	三年二組
優秀賞	雷が 鳴りやまなくて おびえる子 おへそ隠せと 笑う先生	梶 永梨花	一年一組
優秀賞	五月雨の 後にきらりと 目に入る 水玉がらの 蜘蛛の住み処や	内野 皓心	一年一組
優秀賞	大空へ 伸ばすこの腕 遠くへと 入道雲に 包まれたくて	新山 旺佑	二年一組
優秀賞	誕生日 いつも素直に 喜べず 平和を願う 八月六日	村若 聖咲	二年四組
優秀賞	暑さ増し 上がる結び目 艶光る ポニーテールの 揺れる真夏日	福田 梨乃	三年二組
優秀賞	春鳥賊を 釣って捌いて 盛りつける 僕の知となり 肉となるまで	森田 悠翔	三年二組

《俳句》

大賞	黙考の 棋士に聞こえぬ 嵐かな	石牟禮 輝星	二年五組
準大賞	夏の夜 帰路やきそばの 風うまし	東瀬戸 蒼太	一年三組
準大賞	はだしの子 歩くさまこそ 夏の王	前鶴 公介	三年四組
優秀賞	初夏の川 友つれ帰る おとり鮎	森田 優樹	一年四組
優秀賞	水を踏み 紫陽花ぬらした 帰り道	宮之下 茉日瑠	一年五組
優秀賞	友達の 影を蹴散らす 川面かな	宮下 滉基	二年二組
優秀賞	片恋の お守り代わりの 日焼け止め	古園 真希	二年二組
優秀賞	恋心 解きたい君の 虚数解	末廣 脩太	三年四組
優秀賞	かきねごし 子らのにぎわい とおり雨	前田 光	三年五組